

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 1 月 23 日作成)

小委員会名	収縮低減材料コンクリート施工指針作成 小委員会	主 査 名：名和豊春 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名：本橋健司 主 査 名：早川光敬
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>収縮低減材料を用いたコンクリートの調査・施工に関する研究小委員会(2009 年 4 月～2013 年 3 月)の研究成果を踏まえ、JASS 5 や 2006 年 2 月に発刊された鉄筋コンクリート造建築物の収縮ひび割れ制御設計・施工指針(案)を補完する指針として、「収縮低減材料を用いたコンクリートの調査・施工指針」を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初年度：「収縮低減材料を用いたコンクリートの技術の現状」に関する講習会を開催し、指針作成に向けた意見交換を行う。指針構成の決定、WG 設置の検討。 ・2 年度：必要により補足の資料の収集を行うとともに、設置した WG を中心に指針本文を作成し、材料施工委員会および RC 工事運営委員会の査読を経て本文を決定する。 ・3 年度：2 年度に作成した本文に則って、解説文を作成する。原案について、材料施工委員会および RC 工事運営委員会の査読を経て、本文および図表の作図を完成する。 ・4 年度：最終原稿を作成し、「収縮低減材料を用いたコンクリートの調査・施工指針」を発刊するとともに、全国的に講習会を開催する。 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：名和豊春(北海道大) 幹事：谷村 充(太平洋セメント)、野口貴文(東京大学)、 委員：井上和政(竹中工務店)、今本啓一(東京理科大)、入内島克明(電気化学工業)、 兼松 学(東京理科大学)、閑田徹志(鹿島建設)、黒岩秀介(大成建設)、棚野博之(建築研究所)、西 祐宜(フローリック)、西田 朗(清水建設)、丸山一平(名古屋大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	WG 名：収縮低減材料指針資料作成(15 名) 目的：指針本文、解説文の資料準備、小委員会と共同して査読対応を行う。	
2014 年度予算	500,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	小委員会：5 回(年度内計画を含む) WG：7 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. WG を設置し、指針本文資料を準備した。 2. 指針本文の作成を進め、査読に資する原案を整備した。
委員会活動の問題点 ・課題	

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
 *表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。